

産学連携学会第1回大会

開催要領・プログラム

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

2003.9.15 (月・祝), 16 (火)

北海道大学学術交流会館

主催 産学連携学会

産学連携学会第1回大会

(同時開催:HoPE マッチング広場 2003)

会 期

2003年9月15日(月,祝),16日(火)の2日間

会 場

北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

*北海道大学正門(北9条門)から入ってすぐ左側の建物

(北大キャンパス案内図参照)

大会についての最新情報は大会のホームページをご覧ください。

URL=<http://www.cast.hokudai.ac.jp/j-sip>

開催要領

1. 参加登録・受付

大会受付は学術交流会館1階ホール正面です。参加者は受付にて参加章(名札)、名札カード、予稿集をお受け取りください。また、液晶プロジェクターを用いた発表に使用するファイルを持参されている方は、受付へご提出ください(「2.発表要領」の項参照)。

尚、事前登録は9月9日までです。以下の費用を郵便振替にてお支払いの上、参加申込書(大会ホームページに掲載)を大会事務局宛てにE-mailまたはFAXにて9月9日までにお送りください。大会当日も参加登録を受け付けます。その場合は大会受付にて参加費用をお支払いください。

	大会参加費	懇親会費
正会員(個人・法人)	5,000円	4,000円
正会員(学生)	2,500円	2,000円
準会員	5,000円	4,000円
非会員	8,000円	4,000円

参加費振込先(事前登録): 口座番号 02790-5-74383, 加入者名 産学連携学会第1回大会

事前登録者が参加を取り消す場合でも、既に振り込まれた費用は返却いたしませんのでご了承ください。

クロークは入口に入って左手奥の第2会議室です。

大会本部は1階ホールの右手奥の廊下を進んだ第4会議室です。

2. 発表要領

講演番号の形式

シンポジウムの講演番号は、例えば 1S -1 は、発表は第 1 日目、シンポジウム の講演順番が 1 番目という意味です。一般講演の講演番号は、例えば 1B1430 は、発表は第 1 日目、発表会場は B 会場、講演開始時刻は 14 時 30 分という意味です。産学マッチングセッションの講演番号は、例えば M S 01 などとなっており、短時間の口頭発表(第 1 日目 B 会場)の順番を表しています。

液晶プロジェクターをご使用になる場合

(シンポジウム、一般講演、短時間の口頭発表 共通)

1. 発表には**大会事務局で用意したパソコン(OS: Windows)**を使用して頂きます。ご使用頂けるソフトウェアは「Microsoft PowerPoint 2000」または「Adobe Reader 6.0」です。ご使用になるソフトウェアに応じて、ファイル名を「**講演番号.ppt**」または「**講演番号.pdf**」とした原稿を作成して下さい。
2. 大会運営をスムーズにするために、**電子ファイルは事前に E-mail、FTP、郵送の何れかの方法で9月11日(木)までに大会事務局へお送りください。**ファイルを圧縮する場合は、ZIP または LZH 形式でお願いします(講演番号.ZIP、講演番号.LZH など)。
[E-mail の場合]: "j-sip@cast.hokudai.ac.jp"または"taikai@j-sip.org" へお送りください。その際のメールサイズは **5MB 以内**でお願いします。添付ファイルが 5MB 以内でも、メール全体のサイズが 5MB を超えてしまう場合がありますのでご注意ください。
[FTP 経由の場合]: FTP サーバ "virgo.cast.hokudai.ac.jp"にユーザ名: "jsip" でログインしてください。その際のパスワードには、ご自分の E-mail アドレスを入力して下さい。サーバは upload コマンドのみを許可します。既に upload しているファイルの削除、上書き、download はできません。
[郵送の場合]: FD、CD、CD-RW、MO の何れかのメディアをご使用ください。

尚、やむを得ず、ファイルを当日ご持参になる場合は、CD(または CD-RW)に保存して、**なるべく早い時間帯**に受付へ提出してください(この場合、ファイルの圧縮はご遠慮ください)。ご提出いただいた CD などのメディアのご返却はいたしませんのでご了承ください。

ご提出いただいた電子ファイルやそれを含む CD 等のメディアについては、情報が外部に漏れることのないよう、大会前・大会中を通して事務局が責任をもって管理します。また、大会当日の発表終了後は、その発表セッションが終了するたびに使用済みの電子ファイルを消去します。使用済みの CD 等のメディアも確実に破棄します。

一般講演の発表方法

1. 発表時間は、**講演 12 分、討論 3 分、合計 15 分**です。**時間厳守**をお願いします。
2. 発表に使用する機器は、液晶プロジェクターまたは OHP とします。
3. 液晶プロジェクター、コンピュータ (OS:Windows)、OHP は事務局が用意したものを使用していただきます。なお、コンピュータ、OHP の操作は**各自で行ってください**。サポート人員が必要な場合は、各自で確保してください。

産学マッチングセッションの発表方法

1. ポスター展示
 - a) ポスターはC会場 (1階ホール) のパネルに大会開催中継続して展示していただきます。パネルの上部には講演番号を貼付してあります。出展者は、ポスターを平成15年9月15日 (第1日目) の午前9時30分までに会場へ持参し、所定のパネルに各自展示してください。
 - b) ポスターのサイズは、**縦160cm × 横90cm以内**です。
2. 短時間の口頭発表
 - a) ポスター出展者は、**3分以内**で展示内容の要点を口頭発表していただきます (第1日目13:00-14:15, B会場)。
 - b) 発表に使用する機器は、液晶プロジェクターまたはOHPとします。
 - c) 発表用スライド又はOHPシートは2枚程度にまとめてください。
 - d) 液晶プロジェクターをご使用になる場合、コンピュータの操作は**事務局で行います**。なお、OHPをご使用の場合、操作は**各自で行って下さい**。

3. 座長の方へのお願い

座長をお引き受け頂いた皆様には、以下の点をお願い申し上げます。

1. 会場へは**担当時刻の 10 分前**にはおいで下さい。
2. 演題進行に関して時間厳守を演者に促して下さい。
3. 発表中止の演題がある場合はその時間を休憩として、次の演題を予定通りに始めて下さい。

4. 懇親会

第1日目 (9/15) 18:30 より、サッポロビール園 (札幌市東区北 7 条東 9 丁目 2 - 10 , TEL:0120-150-550 , 3F ケッセルホール) にて開催いたします (北大周辺図参照)。当日、大会会場前からサッポロビール園への送迎バスをご用意します。当日受付 (締切り: 正午) もいたしますので是非ご参加下さい。

5. 昼食について

2 日間とも会場にて、弁当の販売を致します。第1日目 (9/15) は祝日のため、学内の食堂は使用できません。また、近隣の喫茶なども利用できないと思われます。コンビニエン

ストアは数店あります。なお、第1日目 11:30 からは臨時総会を開催いたします。臨時総会に出席される方は、昼食をご購入の上、会場内でおとり下さい。

第2日目は、学内のレストラン・食堂がご利用いただけます(北大キャンパス案内図参照)。

レストランきゃら亭(百年記念会館店、クラーク会館店)

北大生協食堂(クラーク会館店)

6. 駐車場

学内への一般車両の入構は原則として禁止されております。自家用車でのご来場はご遠慮下さい。

7. 産学連携学会第1回大会実行委員会名簿

大会委員長：荒磯恒久， 大会事務局：加藤幸浩

委員：飯島 徹，岩本聖史，川下浩一，菊川峰志

8. 大会事務局

北海道大学先端科学技術共同研究センター内

産学連携学会第1回大会実行委員会

〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目

TEL (011)706-7199 FAX (011)706-7220

E-mail:j-sip@cast.hokudai.ac.jp または taikai@j-sip.org

大会当日、FAX は使用できません。

産学連携学会臨時総会開催通知

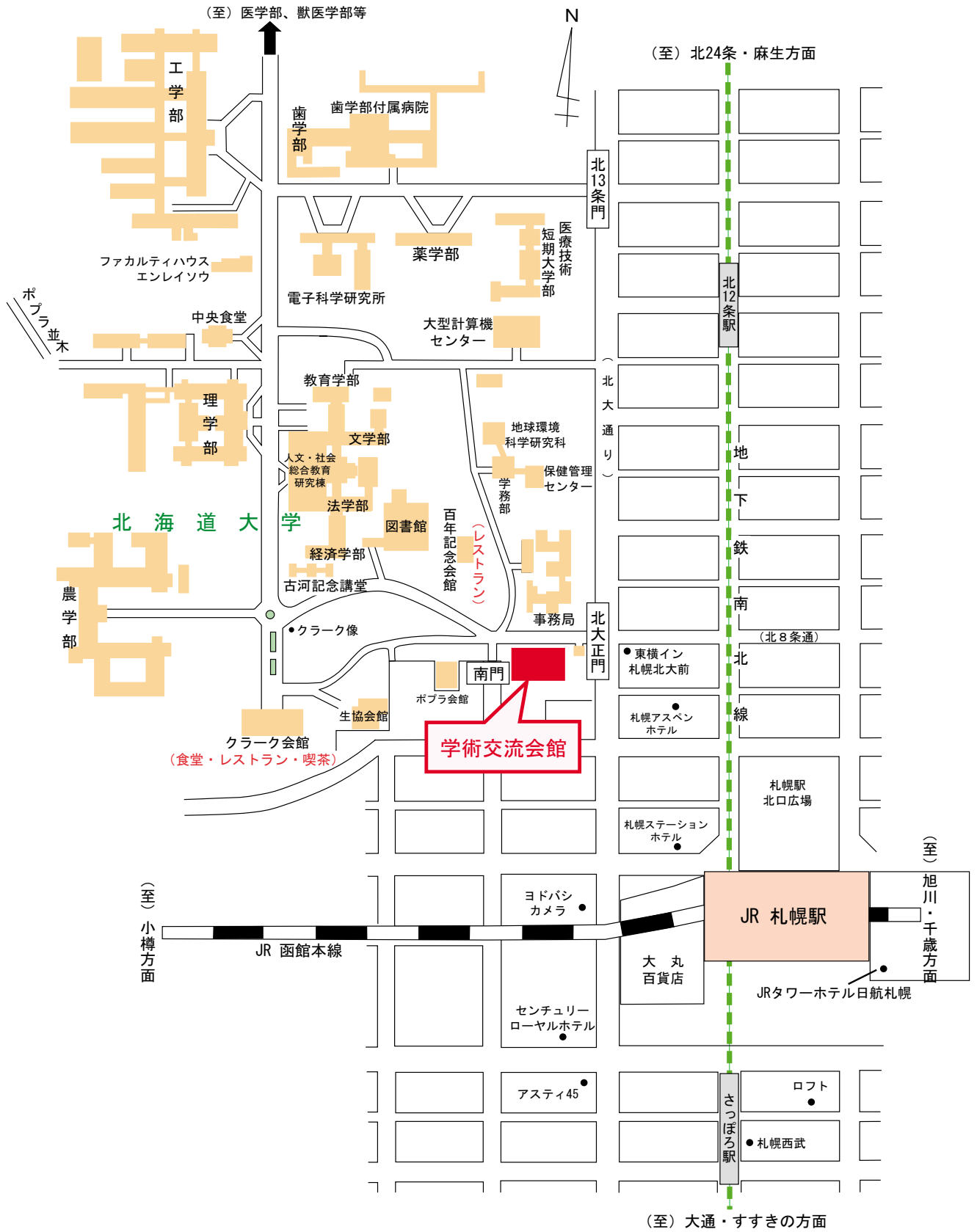
日時:2003年9月15日(月)11:30 - 12:30

場所:A会場(講堂)

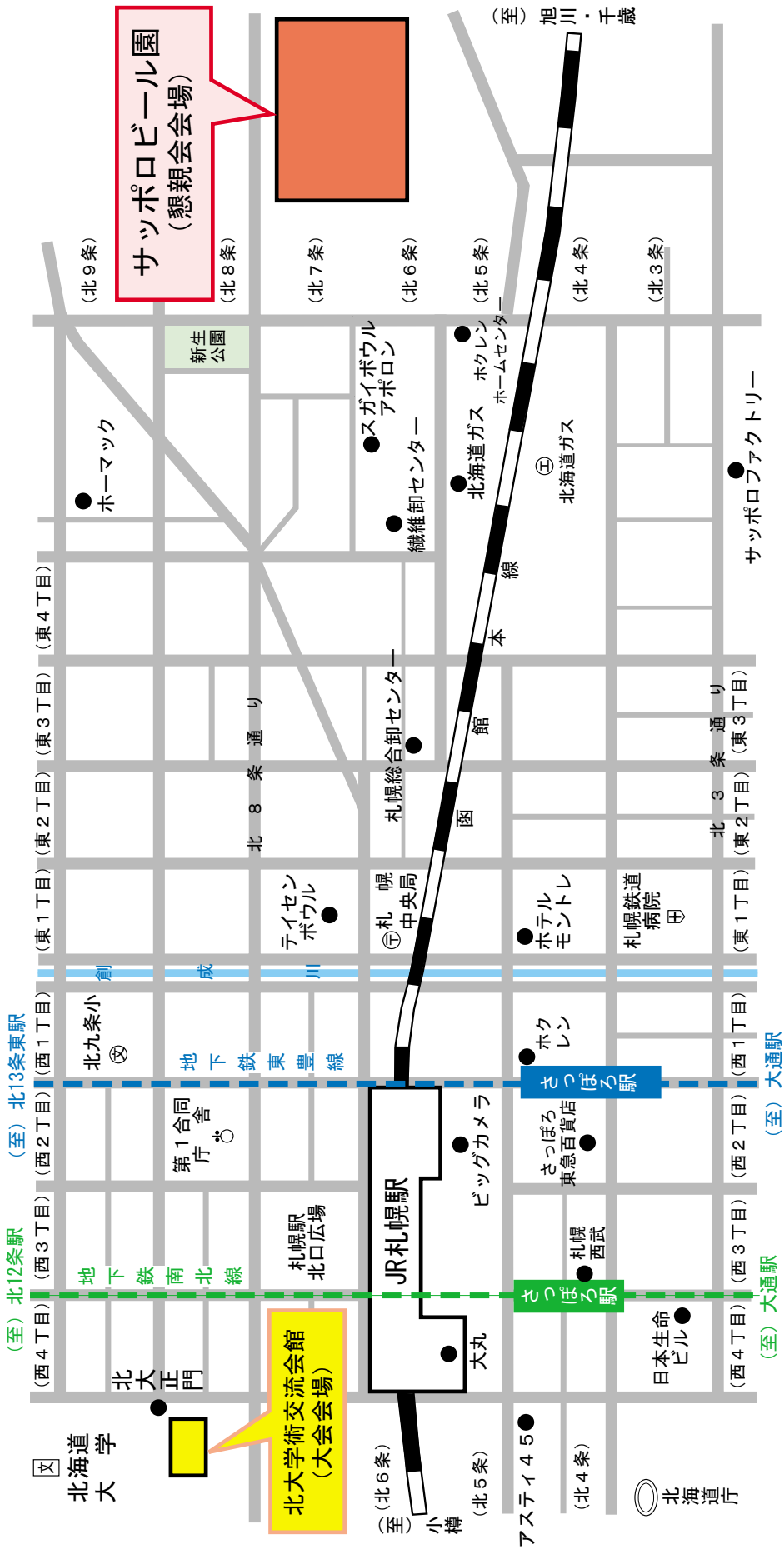
産学連携学会臨時総会を上記の通り開催いたしますので是非ご出席下さい。

都合で総会に出席できない方は、委任状(学会ホームページにフォーマットが掲載しております。また、大会受付にも用意。)を総会以前にご提出下さい(大会受付でも可)。

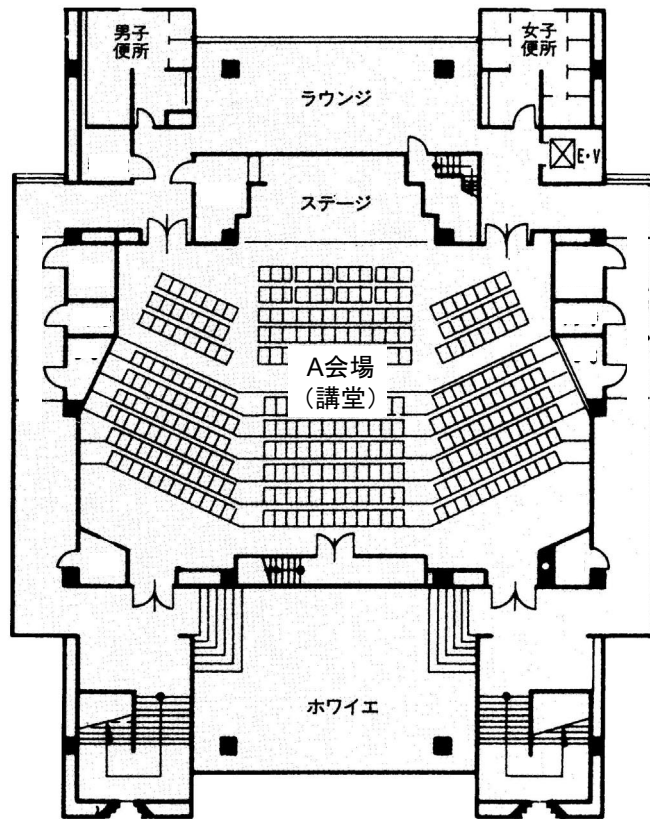
北大キャンパス案内図



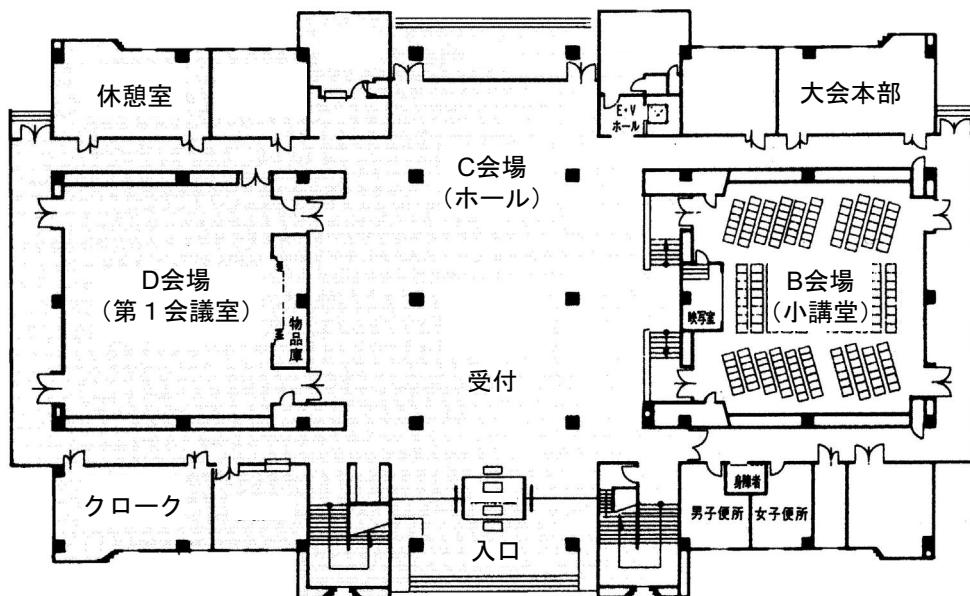
北大周辺図



2階平面図



1階平面図



第1回大会プログラム日程表

9月15日(月) 第1日目

	A会場 (講堂)	B会場 (小講堂)	C会場 (ホール)	D会場 (第1会議室)
8:30	受付開始			
9:30	開会挨拶			
9:45				
10:30	シンポジウムⅠ			
11:10		H o P E マッチング広場 (ショートプレゼン)		
11:30	臨時総会			
12:30			産学マッチング セッション (ポスター展示)	H o P E マッチング広場 (ブース展示)
13:00	シンポジウムⅡ	産学マッチング セッション (ショートプレゼン)		
14:15				
14:30				
15:00		一般講演 産学連携一般(1) 技術移転・リエゾン(1)		
15:20	シンポジウムⅢ			
17:20				
17:30	懇親会			
18:30	懇親会			
20:30	懇親会			

9月16日(火) 第2日目

	A会場 (講堂)	B会場 (小講堂)	C会場 (ホール)	D会場 (第1会議室)
9:00				
	一般講演 産学連携一般(2)	一般講演 教育・人材育成 技術移転・リエゾン(2) 事業化戦略		
12:15			産学マッチング セッション (ポスター展示)	H o P E マッチング広場 (ブース展示)
12:30				
13:30	特別講演			
14:45				
15:00	特別シンポジウム			
17:00				

プ ロ グ ラ ム

開会挨拶

9月15日(月) 第1日目 A会場 (9:30 - 9:40)

湯本長伯 (産学連携学会会長 / 九州芸術工科大学・教授)

特別講演

9月16日(火) 第2日目 A会場 (13:30 - 14:45)

挨拶 (13:30-13:45)

山本邦彦 (北海道副知事)

技術革新を基盤とする経済活性化 (13:45-14:15)

中野誠一 ((財)北海道科学技術総合振興センター副理事長 / 専務理事)

社会と連携する新しい大学像 (14:15-14:45)

清成忠男 (日本ベンチャー学会会長 / 法政大学総長)

特別シンポジウム

9月16日(火) 第2日目 A会場 (15:00 - 17:00)

産学連携・事業創造・ベンチャー創生に係る諸学会の連携

オーガナイザー：湯本長伯（産学連携学会会長 / 九州芸術工科大学・教授）

概要：産学連携・新事業創造に関連して、研究・技術計画学会をはじめ、特色ある学会が創出されている。本シンポジウムでは、各学会の設立趣旨、目的、具体的活動など、それぞれの特色と主張を述べ合い、各学会間の連携を創成する。

主旨説明 (15:00-15:10)

西村太良（産学連携学会・事業委員長 / 京都工芸繊維大学・教授）

各学会代表者講演 (15:10-15:50)

隅蔵康一（日本知財学会理事 / 研究・技術計画学会事務局長 / 政策研究大学院大学・助教授）

湯本長伯（産学連携学会会長 / 九州芸術工科大学・教授）

清成忠男（日本ベンチャー学会会長 / 法政大学総長）

休憩 (15:50-16:00)

質疑応答 / フロアコメント (16:00-16:25)

学会代表者ディスカッション (16:25-16:55)

総括 (16:55-17:00)

清成忠男（日本ベンチャー学会会長 / 法政大学総長）

シンポジウム

9月15日(月) 第1日目 A会場 (9:45 - 11:10)

:北海道内国立大学学長シンポジウム

オーガナイザー: 飯島 徹 (室蘭工業大学・地域共同研究開発センター・助教授)
荒磯恒久 (北海道大学・先端科学技術共同研究センター・教授)

概要:大学における知的財産管理、知財管理・技術マネジメント人材の育成と共同研究センターの役割、大学発ベンチャーの育成、大学における利益相反問題などについて論じる。

武笠幸一 (北海道大学総長代理 / 大学院工学研究科・教授)
田頭博昭 (室蘭工業大学学長)
常本秀幸 (北見工業大学学長)
佐々木市夫 (帯広畜産大学副学長)
秋山義昭 (小樽商科大学学長)

9月15日(月) 第1日目 A会場 (13:00 - 15:00)

:大学発ベンチャー企業の今日的課題

オーガナイザー: 西村弘行
(株)北海道バイオインダストリー・取締役副社長 / 北海道東海大学・教授)

概要:第2回産学官連携推進会議でも報告されたように現在500を超える大学発ベンチャーの起業化が実現しているが、これからの課題は起こした企業をどのようにして維持し、拡大して雇用の創出に結びつけるかである。本シンポジウムでは、実際のベンチャー企業の事例に基づき、今後の課題について論じる。

1S -1 大学発ベンチャー支援サイト・DNDの戦略と今後の方向性

出口俊一 (独)経済産業研究所デジタルニューディール・事務局長)

- 1S -2 インキュベーションの立場からの大学発ベンチャー
土井尚人 ((株)ヒューマン・キャピタル・マネジメント・代表取締役)
- 1S -3 産学官連携によるベンチャー創出に向けた現場主義の重要性
堀之内英¹, 江口真史², 石川隆祥³, 阿部浩治³, 星 博房³, 渡辺 彰³
((有)ゲーテック・代表取締役 / 千歳科学技術大学・講師¹,
(有)ゲーテック / 千歳科学技術大学², (株)日本アレフ³)
- 1S -4 北方バイオベンチャーの成功事例と産学官連携の役割
西村弘行 ((株)北海道バイオインダストリー・取締役副社長 / 北海道東海大学・教授)
- 1S -5 産学官連携によるヘルスケアインフラ創出モデル
○刈田貴久¹, 西村弘行²
(ネイチャーテクノロジー(株)・代表取締役社長¹,
(株)北海道バイオインダストリー・取締役副社長 / 北海道東海大学・教授²)
-

9月15日(月) 第1日目 A会場 (15:20 - 17:20)

:地域産学官連携のかたち

オーガナイザー: 荒磯恒久 (北海道大学・先端科学技術共同研究センター・教授)

概要: 地域産学官連携のかたちを探り、特色ある展開を考える。

- 1S -1 INS(岩手ネットワ-クシステム)の形成 ~イーハトーブ、岩手での集まり~
清水健司 (岩手大学・工学部応用化学科・教授)
- 1S -2 リエゾンはじめて6年目、地方から三セクの挑戦
吉田 孝 ((株)会津リエゾンオフィス・執行役員 / 業務部長)
- 1S -3 ボトムアップ型地域連携のかたち
榊原正利 (特定非営利活動法人 0563.net NPO・代表理事 / 他)
- 1S -4 相互支援型による産学官 + 民連携システムの試み
- 地方大学における社会貢献モデルの提案 -
北村寿宏¹, 片岡 勝², 吉岡佳紀³
(島根大学・地域共同研究センター・助教授¹,
島根大学・地域共同研究センター², 島根県・産業振興課³)
- 1S -5 北海道におけるHoPEの活動
渡邊民嗣 (北海道中小企業家同友会 HoPE・副代表世話人 / 三晃化学(株)・代表取締役)

一般講演

9月15日(月) 第1日目 B会場 (14:30 - 17:30)

産学連携一般 (1)

1B1430 産官学による交流事業の5年間の取り組みと今後の展開

- 「わかやま産学官交流懇談会」を事例として -

河崎昌之¹, 湯崎真梨子²

(和歌山大学・地域共同研究センター¹, 和歌山大学²)

1B1445 地方大学における産学公連携活動 山口大学における取り組み事例

崎山智司, 宮地 壽, 小淵茂寿

(山口大学・地域共同研究開発センター)

1B1500 山口地域における産学連携の取り組み事例

宮地 壽, 崎山智司, 小淵茂寿

(山口大学・地域共同研究開発センター)

1B1515 信州地域特化型の産学対等連携による新規産業の構築

杉原伸宏¹, 小林雅明^{1,2}, 伊勢裕彦¹, 根岸直樹¹, 高橋将文¹, 池田宇一¹

(信州大学・院・医¹, 日置電機(株)²)

1B1530 新潟県内企業と大学との連携のあり方に関する調査研究

川崎一正, 中津普門

(新潟大学・地域共同研究センター)

1B1545 地域の特性を活かした新生コンソーシアムの取り組み

川路茂保

(熊本大学・院・自然科学研究科)

1B1600 産学交流・連携から産学共同研究開発の推進

大嶋 健, 八木嘉博, 松本尚子

(財)大阪科学技術センター)

1B1615 半導体デバイスメーカーにおける産学連携

桑江良昇

((株)東芝 セミコンダクター社)

技術移転・リエゾン (1)

**1B1630 戦略的製品開発に関して、学生モニター・ビジネスデザイナーのチームにより
創造的展開を図る、理論的実験的調査的研究**

坂井陽爾¹, 湯本長伯², 中村 誠², 野添聡司², 大野由起子², 鈴木久晴²,
江上哲平²

(日本ビネガーボトラーズ¹、九州芸術工科大学²)

1B1645 視覚環境移行(改変)事前評価の方法論的研究と具体の評価について

湯本長伯¹, 葉 祥栄², 松本文夫³, 西出和彦⁴

(九州芸術工科大学¹, 葉デザイン事務所²,
プランネットアーキテクチャーズ³, 東京大学・院⁴)

1B1700 知的財産流通業のあり方 (その1)

・ アンケート調査「知的財産流通業に期待されること」 ・

角南英八郎

((有)知財情報研究所)

1B1715 知的財産流通業のあり方 (その2)

・ 知的財産流通業のマーケティング戦略 ・

角南英八郎

((有)知財情報研究所)

9月16日(火) 第2日目 A会場 (9:00 - 12:15)

産学連携一般 (2)

2A0900 インターネットで提供される産学官連携支援情報について

藤原貴典

(岡山大学・地域共同研究センター)

2A0915 インターネットを活用した産学連携のための情報共有における利点と問題点

宇都正幸¹, 内島典子², 有田敏彦², 斎藤俊彦²

(北見工業大学・機能材料工学科¹, 北見工業大学・地域共同研究センター²)

2A0930 北海道室蘭工業大学の産学連携の取り組み事例

飯島 徹, 斉藤和夫

(室蘭工業大学・地域共同研究開発センター)

2A0945 産学連携による新規事業展開の実例

石井 明

(九州芸術工科大学・工業設計学科)

2A1000 技術相談受付票の導入とその産学連携技術的側面

河口真紀, 中村 宏

(東京水産大学・地域共同研究センター)

2A1015 地域連携における公設試の役割

荒磯恒久

(北海道大学・先端科学技術共同研究センター)

2A1030 地方大学における面的産学連携の展開(広島大学の事例から)

山口佳和

(広島大学・大学情報サービス室/地域共同研究センター)

2A1045 産学連携の地域展開・・・横浜国立大学の共同研究の実績を例として

坂元耕三

(横浜国立大学・共同研究推進センター)

2A1100 公募型プロジェクト研究におけるコーディネート活動 - 島根大学での実例 -

北村寿宏

(島根大学・地域共同研究センター)

2A1115 大分県の産学官交流の経緯と今後

川辺正行

(大分県工業団体連合会・産学官交流運営委員会)

2A1130 成功率を高める産学連携の方法

長田純夫

(福岡大学・大牟田産学連携推進室)

2A1145 個人レベルからの産業創出への取り組み - 創業支援事業について -

松岡浩仁¹, 中村八束², 松本明人²

(信州大学・地域共同研究センター¹, 信州大学・工学部²)

2A1200 社会組織イノベーションとしての産学連携

・「産学連携の三層モデル」の視点 -

澤田芳郎

(京都大学・国際融合創造センター)

9月16日(火) 第2日目 B会場 (9:00 - 12:30)

教育・人材育成

2B0900 学生向け授業を活用した地域との産学連携の試み

佐藤三郎

(佐賀大学・科学技術共同開発センター)

2B0915 大学生にみるベンチャー企業起業のポテンシャル

・ 東大発「技術と経営」受講者サーベイの結果を中心に -

堤悦子(追手門学院大学・経済学部)

2B0930 プロジェクト型授業の試行と産学連携手法としての位置付け

中村 宏, 河口真紀

(東京水産大学・地域共同研究センター)

2B0945 インテリアの職能資格水準とその具体的評価に関する実践的行政的研究

湯本長伯¹, 澤内幸一²

(九州芸術工科大学¹, (社)インテリア産業協会²)

2B1000 建築・インテリアの優れた作品・環境の評価及び普及に関する研究

湯本長伯¹, 加藤 茂²

(九州芸術工科大学¹, 建築技術教育普及センター²)

技術移転・リエゾン (2)

2B1015 CRLにおける技術移転活動について

澤田 史武、五十嵐 喜良

((独)通信総合研究所)

2B1030 地元産業界に理解し得る大学研究シーズの作成手法

・ 主として中小企業対応 ・

内島典子¹，宇都正幸²，有田敏彦¹，斎藤俊彦¹

(北見工業大学・地域共同研究センター¹，北見工業大学・機能材料工学科²)

2B1045 大学との技術連携に関する実態調査報告

池田裕一

((株)日本能率協会コンサルティング)

2B1100 イノベーションシステムとしての産学官連携の研究

・ イノベーションシステムの一要素としての TLO の課題 ・

安田耕平

((株)キャンパスクリエイト)

事業化戦略

2B1115 徳島大学における事業化支援体制

佐竹 弘¹，生駒良雄¹，池上泰弘¹，藤井章夫¹，大塩誠二¹，吉井清明¹，
齋藤史郎¹，三輪 恵¹，山下健二²

(徳島大学・地域共同研究センター¹，四国経済産業局²)

2B1130 産学連携による大学発ベンチャーの創出と育成

飯田永久

((財)岡山県産業振興財団 / 高知工科大学・院)

2B1145 産学共同研究から事業化への取り組み - 2~3 の事例紹介 -

田中洋征，平川 実，坂本弘明

(九州工業大学・地域共同研究センター)

2B1200 熊本知能システム技術研究会における戦略的活動

川路茂保

(熊本大学・院・自然科学研究科)

2B1215 地域連携による企業ニーズの創出

荒磯恒久

(北海道大学・先端科学技術共同研究センター)

産学マッチングセッション

口頭発表：9月15日(月) 第1日目 B会場 (13:00 - 14:15)

ポスター展示：C会場 (大会期間終日)

以下は口頭発表順

事業企画

MS01 大学発ベンチャー支援サイト「デジタルニューディール」の概要

出口俊一， 葛巻 岳

((独)経済産業研究所デジタルニューディール)

MS02 徳島大学における研究開発ニーズと地元企業との連携

佐竹 弘，米川孝宏，大塩誠二，池上泰弘

(徳島大学・地域共同研究センター)

MS03 フィージビリティスタディ公募方式による大学発ベンチャーの起業促進

澤田芳郎¹，奥 久輝¹，中野好一²， 大野一志²，大塚宏之²，林 公一²，
大庭牧子²，谷垣昌敬¹

(京都大学・国際融合創造センター¹，ニック(株)²)

産業技術とアイデア

MS04 東アジア・コンピュータ音楽・アワード in 福岡 2004 の提案

中村滋延¹， 湯本長伯²

(九州芸術工科大学・音響設計学科¹，九州芸術工科大学・芸術工学研究センター²)

MS05 半透明膜屋根等の設置による建物北側の光環境の改善に関する研究

石田壽一¹，大井尚行¹， 湯本長伯¹，石橋雅功²

(九州芸術工科大学¹，中興化成工業²)

シーズ紹介

MS06 機械加工支援装置の紹介 動力計と機械熱変形補正センサの提案

藤原貴典

(岡山大学・地域共同研究センター)

MS07 大口径ウエハ対応表面波プラズマ発生装置の開発

福田 永¹, 古川雅一², 飯島 徹²

(室蘭工業大学・電気電子工学科¹, 室蘭工業大学・地域共同研究開発センター²)

MS08 室工大での技術相談対応によるシーズ展開の技術移転展開例

世利修美¹, 飯島 徹²

(室蘭工業大学・工¹, 室蘭工業大学・地域共同研究開発センター²)

MS09 室工大のアウトソーシング形シーズ発信紹介

渡辺正夫, 飯島 徹

(室蘭工業大学・地域共同研究開発センター)

産学連携に関する論考

MS10 地域産業活性化のための取り組み

西村太良, 中西貴輝

(京都工芸繊維大学・地域共同研究センター)

産学連携一般

MS11 企業実務家のための産学連携セミナー - 京都における取組みの紹介 -

澤田芳郎¹, 西村太良²

(京都大学・国際融合創造センター¹, 京都工芸繊維大学・地域共同研究センター²)

MS12 ウェアラブル野性動物追跡装置「W3GT」産学連携開発プロジェクト

佐々木邦俊

((株)エイティーエフ)

- MS13 信州地域特化型の産学対等連携による新規産業の構築**
小林雅明^{1,2}, 杉原伸宏², 伊勢裕彦², 根岸直樹², 高橋将文², 池田宇一²
(日置電機(株)¹, 信州大学・院・医²)
- MS14 地域研究開発促進拠点支援事業(RSP)における産学官連携への取り組み**
大嶋 健, 八木嘉博, 松本尚子
((財)大阪科学技術センター)
- MS15 ある製品開発を通して見た歯科材料分野における産学の関わり合い**
中沖靖子, 佐野英彦
(北海道大学・院・歯)
- MS16 千葉大学における産官学連携事例の分析およびモデル化**
曾田哲也¹, 海老原昇², 藤枝正之², 田中 学²
((財)千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ¹,
千葉大学・共同研究推進センター², 現・千葉県産業支援技術研究所)
- MS17 人文社会科学系の共同研究に関する一考察**
小金民造
(東京水産大学・地域共同研究センター)
- MS18 地共センターWebサイト改善提案**
高見幸司, 伊藤正実
(大分大学・地域共同研究センター)
- MS19 CRLにおける産学官連携の取組み**
磯部俊吉, 真野和彦, 澤田史武, 五十嵐喜良
((独)通信総合研究所)

HoPE マッチング広場 2003 (同時開催)

口 頭 発 表: 9月15日(月) 第1日目 B会場 (10:30 - 12:30)

ブ ー ス 展 示: D会場 (大会期間終日)

技術情報展示企業等(24件)

1. 感性情報分析支援システム
株式会社 あしる工房
2. 水と電気環境改善による活性化の提案
株式会社 荒川設備
3. 立体地図切削・印刷機による模型の世界
株式会社 ウェザーコック
4. 地熱で融雪、太陽光熱で給湯する管理不要装置
上山試錐工業株式会社
5. 究極のテレマーケティング「オートコール」
有限会社 APプランニング
6. 生活ゴミゼロエミッションシステム
北電力設備工事株式会社
7. 新しい乳牛飼養管理システム
北原電牧株式会社
8. 風環境の改善を目指して
三晃化学株式会社
9. 環境保全と新産業創出をめざし、社会に貢献
株式会社 白石ゴム製作所
10. 健康な室内環境を創造する、調湿・消臭材!!
鈴木産業株式会社
11. 環境ソリューションカンパニーを目指します
積水化学北海道株式会社
12. フロアメンテナンスに新技術“UV方式”
東邦リライアンス株式会社
13. 北海道産にこだわり環境にやさしい商品づくり
日本システム機器株式会社

14. **プラスチックが変える未来の生活**
株式会社ノルデンケミカル
15. **食品細菌自動検査装置「バクテクター」**
株式会社 プラムネット
16. **超薄型面発光体ELを利用したe-POP**
株式会社フリーダム
17. **次世代の都市緑化技術を提案する**
明和株式会社
18. **地球温暖化防止と新エネルギー**
株式会社 ホクスイ設計コンサル
19. **環境と向き合い、活力ある未来の創造を！**
株式会社 未来開発コンサルタント
20. **人・環境に優しい建築土木資材**
株式会社 よねざわ工業
21. **廃発泡スチロールから生まれた接着剤の試作**
株式会社 レーザープロ
22. **環境保全で人と地球にもっと愛を**
央幸設備工業株式会社
23. **最高水準の殺菌・消臭・防汚工法ALEX**
株式会社 岡高組
24. **海洋深層水で新たなビジネスチャンスの創造を!!**
岩内町海洋深層水対策室

支援機関・研究機関等(7件)

1. **北海道立工業試験場**
2. **財団法人 北海道科学技術総合振興センター**
3. **財団法人 北海道中小企業総合支援センター**
4. **独立行政法人 産業技術総合研究所 北海道センター**
5. **北海道中小企業家同友会**
6. **HoPE(北海道プラットフォームエントランス)**
7. **中小企業総合事業団 中小企業・ベンチャー総合支援センター北海道**